

## 第8回予算決算審査特別委員会（2日目） 要点記録

開閉会日時		令和8年3月12日 水曜日		開会	9:55	閉会	14:25	会議場所		別海町議会 議場	
議員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	7 番	横田 保江	出席	13 番	中村 忠士	出席		
	2 番	吉田 和行	出席	8 番	田村 秀男	出席	14 番	佐藤 初雄	出席		
	3 番	高橋眞結美	欠席	9 番	小椋 哲也	出席	15 番	戸田 憲悦	出席		
	4 番	伊勢 徹	出席	10 番	外山 浩司	出席	16 番	西原 浩	出席		
	5 番	貞宗 拓雄	出席	11 番	今西 和雄	出席					
	6 番	宮越 正人	出席	12 番	松原 政勝	出席					
理事者 機関の長等	町長			副町長			教育長			代表監査委員	
	曾根 興三	欠席		浦山 吉人	出席		相澤 要	出席		竹中 仁	欠席
幹部職員	選挙管理委員長			農業委員会会長							
	永田 雅夫	欠席		信夫 重勝	欠席						
	総務部長			総合政策部長			経営管理部長			福祉部長	
	選挙管理委員会書記長			地域総政課長			財政課長				
	伊藤 輝幸	出席		松本 博史	出席		寺尾 真太郎	出席		宮本 栄一	出席
	保健生活部長			産業振興部長			建設水道部長			別海病院事務長	
	小川 信明	出席		小野 武史	出席		外石 昭博	出席		三戸 俊人	出席
	会計管理者			教育部長			農業委員会事務局長			監査委員事務局長	
	出納室長										
	干場 富夫	出席		干場 みゆき	出席		川畑 智明	出席		木戸口 誠	出席
	総務部次長			総務部次長			総務部次長			総合政策部次長	
	西春別支所長、西公民館長			税務課長			総務防災・基地対策課長			総合政策課長	
	竹中 利哉	出席		松田 勝広	出席		岩口 裕昭	出席		小村 茂	出席
	福祉部次長			保健生活部次長			保健生活部次長			産業振興部次長	
	福祉課長			保健課長・こども家庭センター長			町民課長			水産みどり課長	
	石戸谷 友絵	欠席		千葉 宏	出席		谷村 将志	出席		大坂 恒夫	出席
建設水道部次長兼 上下水道課長			教育部次長			教育部次長			教育部次長		
			生涯学習センター長・中央公民館長			学校教育課長・学校給食センター長			学務課長		
新堀 光行	出席		福原 義人	出席		田畑 直樹	出席		角川 具哉	出席	
出席説明員	情報広報課長			尾岱沼支所長			人事財産課長			介護支援課長	
				東公民館長							
	山田 哲哉	欠席		門間 勝司	出席		齋藤 陽	出席		高橋 勇樹	出席
	老人保健施設すこやか事務長			生活環境課長			母子健康センター長			農政課長	
	渡辺 久利	出席		上田 健一	欠席		根本 博美	欠席		皆川 学	出席
	商工観光課長			管理課長			建築住宅課長			事業課長	
	堀込 美穂	出席		入田 浩明	出席		廣島 静治	出席		佐竹 和仁	出席
	別海病院事務課長			指導参事			生涯学習課長			図書館長	
							総合スポーツセンター館長			郷土資料館長	
	椋木 直人	出席		瀬川 航平	出席		立澤 雅彦	出席		堺 啓	出席
	総務防災・基地対策課主幹			財政課主幹			商工観光課主幹			商工観光課主査	
	橋本 達也	出席		高橋 克彦	出席		上杉 大洋	出席		山下 真弘	出席
	管理課主査			事業課主幹			事業課主幹			建築住宅課主幹	
	池田 友和	出席		前道 陽司	出席		板垣 正博	出席		篠田 敬介	出席
	学務課主幹			生涯学習課主幹			生涯学習課主査			学校給食センター主査	
	武田 文吉	出席		恒川 敦史	出席		松本 芳樹	出席		大森 晴海	出席
郷土資料館副館長			町民課主査			町民課主査			老人保健施設すこやか主査		
石渡 一人	出席		加藤 美和	出席		永田 恵一	出席		佐藤 裕美	出席	
上下水道課主幹			上下水道課主幹			上下水道課主査			別海病院事務課主幹		
西田 和弘	出席		植松 拓也	出席		木村 洋平	出席		大森 圭介	出席	
別海病院事務課主幹											
奈良 司	出席										
事務局職員	事務局長		入倉 伸顕	事務局主幹		木幡 友哉	合計		2名		
傍聴者数	一般		0名		議会モニター		1名		議会サポーター		0名
	報道関係者		0名						合計		1名

会議に付した事件及び会議結果など		
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。	
委員長 7番 横田	9:55 開会 開会挨拶 出席委員 15名、欠席委員 1名	
委員 1番 吉田	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費 節) 負担金補助及び交付金  細節) 起業家支援事業補助金  事業) 起業家支援事業 113,000千円</p> <p>①算定根拠と令和7年度の利用見込件数。</p>	
商工観光課長 堀込	<p>①令和7年度2月末現在の利用実績は、新規開業5件、新分野進出1件、経営拡大3件、空き店舗利活用3件の計12件である。現在2件の相談対応中で、令和7年度中の申請となるかは未確定である。令和8年度は地域活性化拠点再生構想に基づき、旧消防庁舎周辺区域内での空き店舗利活用について拡充を行う。対象区域では補助率3分の2、上限3,000万円で支援する。令和8年度の見込件数は、新規開業9件4,500万円、新分野進出・経営拡大5件200万円、対象区域内空き店舗利活用2件5,000万円、対象区域外空き店舗利活用2件1,600万円の計18件1億1,300万円である。</p>	
委員 1番 吉田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度の説明で経営拡大がなかったように思うが、もう一度確認したい。</li> </ul>	
商工観光課長 堀込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新分野進出と経営拡大を一緒に説明したため、新分野進出・経営拡大合わせて5件200万円を見込んでいる。</li> </ul>	
委員 13番 中村	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費 節) 負担金補助及び交付金  細節) 起業家支援事業補助金  事業) 起業家支援事業 113,000千円</p> <p>①事業内容に起業家（新規開業、新分野進出、経営拡大、空き店舗利活用）に対し支援補助するとあるが、補助金交付要綱の概要。</p>	
商工観光課長 堀込	<p>①新規開業は対象経費の3分の2、上限500万円。新分野進出は対象経費の2分の1で、新事業所設置の場合上限50万円、既存事業所利用の場合30万円、事務所を構えない場合20万円。経営拡大は対象経費の2分の1、上限50万円。空き店舗利活用は対象経費の3分の2、上限800万円。対象区域内の空き店舗利活用は補助率3分の2、上限3,000万円である。</p>	
委員 13番 中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付対象は町内・町外関係なく、一定の基準をクリアすれば誰でも補助できるのか。</li> </ul>	
商工観光課長 堀込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となるのは町内に本社を置く事業所または町内に住所を置く個人である。</li> </ul>	
委員 13番 中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請前半年以上は町内にいるなどの規定はあるか。</li> </ul>	
商工観光課長 堀込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間は特に設けていない。申請段階で町内に事業所または住所があることが条件である。</li> </ul>	
委員 9番 小椋	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費 節) 負担金補助及び交付金  細節) スポーツ合宿受入協議会補助金  事業) スポーツ合宿受入協議会補助事業 1,500千円</p> <p>①令和7年度のスポーツ合宿の受入数と、令和8年度の目標数は。</p>	
商工観光課長 堀込	<p>①令和7年度は5チーム、延べ7回、延べ96名を受入れた。令和8年度は新しい宿泊施設が増えているが運営形態が様々で、チームの希望条件とマッチしない課題がある。目標値を掲げるより、別海町での合宿を希望するチームが合宿できる支援体制を整えることが先決と考える。</p>	
委員 9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実的にスポーツ合宿を受入れられる宿泊施設は何件程度か。</li> </ul>	

商工観光課長	堀込	・受入れ条件として朝昼晩の食事提供、分宿不要の規模、チームの要望に応じた朝食提供など細かな要件があり、現在の受入れ状況から町内約 4 件程度が対象となる。
委員 9 番	小椋	・協議会は営業活動して宿泊事業者とのマッチング仲介をしているのか。具体的な動きを伺う。
商工観光課長	堀込	・協議会は宿泊施設と合宿希望チームのマッチング事務を行っている。チームへの情報発信、大会応援、直接誘致案内を実施しているが、受入体制を整えることが先決として、積極的誘致は一旦可能な範囲にとどめている。
委員 9 番	小椋	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 地域貢献中小企業支援事業補助金</p> <p>事業) 地域貢献中小企業支援事業 93,600 千円</p> <p>①国の事業との連携予定は。</p>
商工観光課長	堀込	①令和 7 年度は環境省の窓ガラス・ドア断熱改修支援制度との併用で申請が大幅増加した。令和 8 年度も環境省の同様制度継続が決まり併用可能で、建築事業者からも既に申請相談を受けている。
委員 9 番	小椋	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費</p> <p>事業) 中小企業人材確保・育成事業 12,555 千円</p> <p>①地域と都市をつなぐ人材と企業のマッチング機会として、整備する媒体やシステムなどは何か。また、マッチング機会の向上を図る KPI は設定しているか</p>
商工観光課長	堀込	①短期就労支援のおてつたび事業と、アルキタ連携の求人求職サイト作成運用がある。おてつたび事業は参加者 14 名を目標とし、求職求人サイトは令和 7 年度 10 事業者、令和 8 年度 15 事業者登録で、アクセス数・応募総数をレポートで報告している。
委員 9 番	小椋	・令和 7 年度の就労実績と別海ワークの冊子利用について伺う。
商工観光課長	堀込	・9 月からのサイト運用で総アクセス数 6,842 件、応募数 41 件、採用数 2 件である。冊子は求職求人サイト内容をもとに作成し、地元企業と高校生の懇談会で配布、近郊高校への配布も行っている。
委員 9 番	小椋	・冊子の町内事業者への配布について検討したか。
商工観光課長	堀込	・商工会を通じて町内商工会員全員に配布している。来年度も同様に求職求人サイト運営及び冊子作成を行う予定である。
委員 16 番	西原	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費</p> <p>事業) 中小企業人材確保・育成事業 12,555 千円</p> <p>①就職奨励金補助額、対象人数。</p> <p>②奨学金返還支援金額、対象人数。</p> <p>③別海町就職奨励金等交付要綱で農林水産業従業者を交付対象者から除外している理由。</p>
商工観光課長	堀込	①②就職奨励金は令和 8 年度 15 名 150 万円、奨学金返還支援は 6 名 172 万 8,000 円を見込む。
		③農林水産業除外は、商工会からの要望で商工業中心の中小企業支援として開始し、家族経営での雇用契約によらない就業は事業趣旨とかけ離れること、新規就農・後継者対策支援策があることによる。しかし法人化した農漁業従業者も対象外となる課題が見えたため、令和 8 年度に対象要件を含む制度見直しを図りたい。
委員 16 番	西原	・MEGA ファームや GIGA ファームから不公平感の指摘があったことから、制度改善を要望する。
委員 9 番	小椋	<p>項) 商工費 目) 観光費</p> <p>事業) 地域資源観光磨き上げ事業 23,792 千円</p> <p>①地域資源観光化支援事業で具体的に支援する団体などは決まっているのか。決まっている場</p>

商工観光課長	堀込	合、どのような団体や地域、観光資源なのか。最終的なアウトプットの方法について。
委員	8番 田村	①別海町観光協会に対し、別海りよウシくんの更新支援と冷蔵用自動販売機導入支援を行う。NPO 法人文化財ネットワークに対し奥行臼地区文化財を活用した観光プログラム造成の伴走支援を行う。町内青少年教育団体等のガイド活用活動支援、環境保全活動団体への支援も実施する。これらにより観光資源の質向上、新たな観光名所・コンテンツ増加、魅力度向上・誘客促進につなげる。
委員	8番 田村	項) 商工費 目) ふるさと交流館費 事業) ふるさと交流館整備事業 238,785 千円
委員	8番 田村	①ふるさと交流館整備実施設計に対する予算額は。 ②ふるさと交流館整備実施設計以外の事業内容は。 ①設計委託料内訳は、建物実施設計業務委託費 1 億 8,023 万 5,000 円、外構工事設計業務委託費 5,000 万円、外構工事測量委託費 600 万円である。 ②実施設計以外は住民説明会開催費用、運営検討での情報収集面談費用・旅費、新源泉利用許可申請手数料である。
委員	8番 田村	・実施設計で温浴・宿泊・レストラン・物販機能の形が見えるか、発注方法はプロポーザル方式を採用するか。
委員長	7番 横田	暫時休憩 10 : 23
委員長	7番 横田	10 : 23 再開
商工観光課長	堀込	・基本計画で施設規模・機能を検討しており、実施設計でどういった機能・施設規模かが見える。契約・入札方法は未定で、基本計画等でプロポーザルは実施していない。
委員	13番 中村	・住民説明会の時期・スケジュールと実施形式について伺う。
商工観光課長	堀込	・基本設計素案作成終了後、住民説明会とパブリックコメントを実施し、意見を盛り込んで基本設計完了、実施設計に取りかかり令和 8 年度中に完成させる予定である。別海町は広いので 1 か所 1 回では地域の声を拾い上げるのは難しく、何回か地域ごとに実施する形式を検討中である。
委員	13番 中村	・住民意見が十分反映される流れか確認したい。
商工観光課長	堀込	・様々な意見があるため全てを盛り込むのは困難だが、町民にとって使いやすく末永く楽しめる施設となるよう、意見を伺いながら進める。
委員	9番 小椋	・令和 8 年度中に完成は実施設計の完成という確認をしたい。
商工観光課長	堀込	・建物自体ではなく、実施設計の完成を令和 8 年度中に見込んでいる。
委員長	7番 横田	労働費、農林水産業費、商工費全体質疑
委員	一同	・なし
委員長	7番 横田	休憩 10 : 29
委員長	7番 横田	10 : 30 再開
委員	8番 田村	項) 土木管理費 目) 土木総務費 節) 委託料 細節) 業務委託料 事業) 住民公開GIS (除雪システム等) 環境構築及び地形図整備事業 238,785 千円
管理課長	入田	①除雪システム以外に活用できるか。 ①除雪システムそのままの他事業活用は困難だが、ベクターデータ・ラスターデータ・属性データを一元化した共通プラットフォームを作成する。本事業でデジタル地形図を新規作成するため、これらデータを様々な事務に活用可能である。
委員	8番 田村	・GIS 環境構築と地形図整備は単年度で終わるか、来年から除雪システムの住民サービス運用ができるか、ランニングコストはどの程度か。

管理課長	入田	・システム構築は来年度完了見込みである。運用は来年度除雪車に GPS 設置し内部で実証・精度調整を行うため、公開は再来年度からとなる。ランニングコストはデータ更新・システム使用料等で、他部署のライセンス増も考慮すると最大年間 1,400 万円程度である。
委員 9 番	小椋	・整備した基礎 GIS データを民間事業者が利活用できるか。
管理課長	入田	・既存航空写真データは著作権が町にないため公開は協議が必要だが、地番データ・地形図データは町所有のためオープンに出していく予定である。
委員 1 番	市川	項) 消防費 目) 災害対策費 事業) 災害用備蓄資機材等整備事業 3,313 千円
総務防災・基地対策課長	岩口	①備蓄品の購入時期はどのように計画しているのか。 ①食料系は有効期限 1 年前更新、使い捨て哺乳瓶・おむつ等の資機材は保存期限を迎える年に更新を行う。
委員 9 番	小椋	項) 消防費 目) 災害対策費 節) 委託料 細節) 業務委託料 事業) 防災ハザードマップ作成事業 7,667 千円
総務防災・基地対策課長	岩口	①WEB 版について、実際の災害発生時を想定し、町民がオフラインでもスマホなどで閲覧できる仕組みは考えているか。 ①現在のホームページ内容に高潮浸水区域情報追加・多言語化を行う改修で、オフライン閲覧の仕組みはないが、PDF ダウンロードによりスマホ内データ保存は可能である。大規模災害時のアクセス困難に備え、冊子版ハザードマップ常備や PDF ダウンロード対応を推奨する。
委員 9 番	小椋	・冊子版の PDF データはホームページからダウンロード可能か。
総務防災・基地対策課長	岩口	・冊子版 PDF データはダウンロード可能である。
委員 2 番	吉田	項) 消防費 目) 災害対策費 節) 備品購入費 細節) 機器等購入費 事業) 防災 DX 推進事業 1,462 千円
		・防災 DX 推進事業の大型高機能モニターの設置場所、具体的にできること、災害時以外の利用想定について伺う。
委員長 7 番	横田	暫時休憩 10 : 40
委員長 7 番	横田	10 : 41 再開
総務防災・基地対策課長	岩口	・通常時は 2 階総務防災・基地対策課執務室周辺に保管する。災害時は担当職員が自席からタイムライン等を入力できる。通常時はウェブ会議等に利用可能で、他部署への貸し出しも行う。
委員 12 番	松原	項) 消防費 目) 災害対策費
総務防災・基地対策課長	岩口	・避難所の案内看板が立っていない所があるか。 ・町内指定避難所全てに避難所看板を設置している。経年劣化もあるため順次確認しながら更新する。
委員 12 番	松原	・案内版がなく避難してくる人がいないと聞いているため、再度確認をお願いしたい。
総務防災・基地対策課長	岩口	・現在指定避難所で案内看板がない場所はないと考えているが、再度確認する。
委員長 7 番	横田	土木費、消防費全体質疑
委員	一同	・なし
委員長 7 番	横田	休憩 10 : 43
委員長 7 番	横田	10 : 50 再開
委員 10 番	外山	項) 教育総務費 目) 教育指導費 事業) 生きる力アッププロジェクト事業 4,671 千円
		①先進地視察後の他の教員への還元（周知）方法。

学校教育課長	田畑	①視察研修参加者による町内全教職員対象公開授業実施、参加できなかった教職員への授業動画共有、授業報告書冊子配布・ファイル共有を行う。
委員 10番	外山	・視察後どのくらいの期日で配布しているか。
学校教育課長	田畑	・研修後1～2か月でプロジェクトチームが授業を作成し、全町内教職員対象公開授業を実施する。公開授業後、動画は即共有し、授業報告書は年度内に配布する。
委員 13番	中村	<b>項) 教育総務費 目) 教育指導費 事業) いじめ・不登校問題対策事業 1,377千円</b> ①令和7年度事業実績及びいじめの件数・不登校の人数。 ②令和8年度事業の具体的内容。
学校教育課長	田畑	①ふれあいるーむは2月末まで開室日225日、通級生来室延べ228人、通級生以外来室延べ137人、来室相談者延べ49人である。ふれあいるーむサテライトは開設日35日、通級生来室延べ4名、通級生以外来室延べ76名である。いじめは11月末現在小学校349件・中学校46件計395件、不登校は小学校21人・中学校47人計68人である。 ②令和8年度はふれあいるーむを週5日開設し、指導員による各学校訪問説明・チラシ全校配布を行う。
委員 13番	中村	・ふれあいるーむとサテライトの担当職員数について伺う。
委員長 7番	横田	暫時休憩 10:56
委員長 7番	横田	10:57 再開
学校教育課長	田畑	・別海のふれあいるーむは全員6名で指導に当たり、そのうち2名がふれあいるーむサテライトで勤務している。
委員 13番	中村	・いじめ・不登校の増減傾向分析について伺う。
委員長 7番	横田	暫時休憩 10:59
委員長 7番	横田	10:59 再開
指導参事	瀬川	・年々不登校の子供が多くなっている現状で、大きな要因は子供たちの学校に対するニーズが多様化していることである。
教育部長	干場	・近年不登校・いじめ児童が多くなっており、保護者・子供の学校教育に関する考え方の多様化と、それに対応する学校現場・教職員の対応の問題がある。個々への対応が難しい現状だが、ふれあいるーむ・サテライト・地域の方々と連携して取り組んでいく。
委員 10番	外山	・不登校増加は悪いことではなく多様化の中の生き方として認める観点で、先生方が指導しているか。
指導参事	瀬川	・子供たちの多様なニーズを把握し、研修等で多様なニーズにこたえる対応を講じている。
委員 9番	小椋	<b>項) 小学校費 目) 教育振興費 節) 委託料 細節) 業務委託料 事業) 小学校情報機器活用支援体制整備事業 10,780千円</b> ①ICT機器トラブルの対応やヘルプデスクなど、教員から見てプル型の支援だけでなく、プッシュ型の技術やノウハウの支援は行っているか。また、行っていないとしたら、検討はされているか。
学務課長	角川	①本事業はGIGAスクール運営支援センターに係る業務委託となる。ICT機器のトラブルやヘルプデスクの対応だけでなく、問合せの中から必要とされている講座や研修会などについても企画開催を行っている。教員へのICTに係る研修については重要と考えており、積極的に開催していけるよう委託先と協議するとともに、学校に対しても校長会等を通じながら促していきたい。
委員 9番	小椋	・同じ教育振興費の目の中で、小学校のコンピューター整備事業について伺う。先日の補正予算のやりとりで、昨年コンピューターのGIGAスクール端末導入後、今年キitting作業をするという形で翌年度にずれteしまっていることについて、事情を伺う。

学務課長	角川	・令和7年度に生徒用児童用タブレットを購入している。台数が合わせて1,216台と非常に多く、キッティング作業については初期設定の作業で非常に時間がかかり、半年程度見ているため、次年度にずれている。
委員	9番 小椋	・昨年度のうちにキッティングも発注して繰越しなどをして、半年間寝かせるのがもったいないのではないか。パソコンの実質耐用年数は長く見ても5年程度しかない中で、半年ロスするのは資産価値としてももったいない。購入したらすぐキッティングについても入札を行って発注し、年度内に終わらなかつたら繰越しなどをして、買ってから子供の手に渡るまでの期間を短くしたほうが資産効率がよいのではないか。
学務課長	角川	・北海道全体での共同入札で、Windowsのタブレットについては全道で大丸が一括して落札している状況となっており、参加している市町村にそれぞれ送る作業にも時間がかかっている。計画を立てて単年度の中では見込むことが難しいため、次年度にキッティングを計画している。
委員	9番 小椋	・共同購入でどうしても時間がかかるのは理解しているが、いつ到着するかが非常に流動的で年度内いっぱい見ておかないと厳しいという事情だったということか。もう1点は、キッティングに関しては地元事業者で行っているのか、それともキッティング含めて共同調達の中なのか。
学務課長	角川	・1点目については委員指摘のとおりである。2点目については、キッティング作業については町内業者で別に行う予定となっている。
委員	9番 小椋	<p>項) 小学校費 目) 学校建設費 事業) 義務教育学校整備事業 97,210千円</p> <p>①義務教育学校の整備だけではなく、拠点再生構想との整合性や連携についてはどのように考えているか。</p>
学務課長	角川	①拠点再生構想については、現在地域活性化拠点再生構想庁内検討会議において、各地区における機能分担や再生コンセプトの整理を行い、下絵の作成を進めている段階である。義務教育学校の整備についても、こうした検討状況を踏まえながら、学校として必要な機能や役割について整理を行い、拠点再生構想との整合性を図りつつ検討を進めていきたい。
委員	9番 小椋	・拠点再生構想の中で教育エリアとしてのゾーニングという考え方が重要になってくる。建物は一度つくってしまったら簡単に直せないため、建物の設計や敷地を一緒のところにつくるなどを含めた上での連携なのか、それとも隣接地域あたりが実際のところの限界なのか。補助の要件などいろんな問題が絡んでくると思うが、見込みについて現段階で話せるものがあるか。
学務課長	角川	・別海中央中学校周辺に係る拠点構想の中に、義務教育学校の整備のほか、勉強ができる空間、カフェ空間、図書館などのエリアの中で検討すべき機能が上がっている。義務教育学校の整備に当たってはそれらの機能に対しても、計画等の整合性を図る上で、学校の整備だけでよいのか、それら機能についても一緒に考えるべきなのかということもあわせて並行して進めていきたい。
委員	10番 外山	<p>項) 小学校費 目) 学校建設費 事業) 小学校校舎等整備事業 100,095千円</p> <p>①上春別小学校の整備について、バリアフリー化を事業目的の一つとしていると思うが、トイレ洋式化改修工事に当たり実施されるのか。</p>
学務課長	角川	①小学校校舎等整備事業の上春別小学校整備事業について、事業全体の中においてはバリアフリー化も事業目的としている。ただし、令和8年度に実施を予定しているトイレの洋式化改修工事については、トイレを和式から洋式に改修するだけのものとなり、バリアフリー化に係る工事は含まれていない。
委員	10番 外山	・野付小学校や中央小などについても、今と同じような回答になるのか。
学務課長	角川	・同じようにトイレの改修については、和式から洋式に改修するだけの工事費となっており、バリアフリー化

委員	13番	中村	の工事は含まれていない。
委員	13番	中村	<p><b>項) 小学校費 目) 学校建設費</b>  <b>事業) 小学校校舎等整備事業 100,095千円</b></p> <p>①上春別小学校の整備事業にトイレ洋式化改修工事があるが、小学校全体でのトイレの洋式化率はどうか。</p>
学務課長		角川	①閉校する西春別小学校を除く小学校6校、合計で152基の大便器があり、現時点では79基、約52%の洋式化率となっている。令和7年度予算で繰越事業となっている野付小学校、上西春別小学校、それから令和8年度の当初予算で計上している上春別小学校の3校が洋式化されることを含めると、131基で約86%になると見込んでいる。
委員	13番	中村	・残る部分もあるが、8割以上がこれで洋式化されるということだが、残りについてはどのような考え方を持っているか。
学務課長		角川	・残りの比率の中、大きな割合を占めるのは別海中央小学校と上風連小学校である。別海町中央地区の義務教育学校整備を控えていることもあり、両学校については大便器の一部が既に洋式化されているという状況もあることから、現時点ではトイレだけの改修という計画はしていない。ただし義務教育学校整備の状況、統合に対する地域の状況などを鑑みながら検討していきたい。
委員	9番	小椋	・和式の上に置くだけの簡易洋式みたいな形もあると思うが、それらの検討はされたか。
学務課長		角川	・現時点ではしていない。
委員	9番	小椋	<p><b>項) 中学校費 目) 教育振興費 節) 委託料 細節) 業務委託料</b>  <b>事業) 中学校情報機器活用支援体制整備事業 10,780千円</b></p> <p>①ICT機器トラブルの対応やヘルプデスクなど、教員から見てプル型の支援だけでなく、プッシュ型の技術やノウハウの支援は行っているか。また、行っていないとしたら、検討はされているか。小学校費と同じ内容のため、違う内容があれば教えていただきたい。</p>
学務課長		角川	①同じ内容となる。
委員	13番	中村	<p><b>項) 中学校費 目) 学校建設費</b>  <b>事業) 中学校校舎等整備事業 41,163千円</b></p> <p>①上春別中学校の整備事業にトイレ洋式化改修工事があるが、中学校全体でのトイレの洋式化率はどうか。</p>
学務課長		角川	①閉校する西春別中学校を除く中学校6校合計で104基の大便器があり、洋式化率は74基で約71%となっている。令和8年度当初予算に計上する上春別中学校の洋式化がなされると、82基、約79%になると見込んでいる。
委員	13番	中村	・残りの中学校は中央中学校、上風連中学校ということになるかということを確認したい。また、小学校から比べてもやや洋式化率が低い、今後の対応としてどのように考えているか。
学務課長		角川	・洋式化率が100%から差し引いた率の大きな要因は上風連中学校と別海中央中学校と同じになる。やや低い部分については、10年ほど前に洋式化便器の工事を行った際に2、3基という程度で入れていった時に、別海中央中学校が便器数が多いことで率が低くなっており、現在36%という率になっている。そういったことから全体でいくと、別海町中央中学校の割合が大きいこともあり、率が約80%程度になっている。義務教育学校整備事業が控えているということと、一部洋式化がされているという状況を考え、今後の状況を見ながら検討はするが、現段階ではトイレだけの洋式化は計画していない。
委員	11番	今西	<p><b>項) 社会教育費 目) 社会教育総務費</b>  <b>事業) 奥行地区文化財保存事業 4,534千円</b></p> <p>①どの様な機械を購入するのか内容を。</p>

郷土資料館長 堺	<p>②どの様な体制で運用するのか。</p> <p>①ロボット草刈り機 1 台と乗用草刈り機 1 台を購入予定である。ロボット草刈り機は史跡旧奥行臼駅逦所の敷地を対象とし、GPS 機能により設定エリア内を自動で草刈りを行う。人手不足解消と定期的な景観維持が可能となる。乗用草刈り機は旧奥行臼駅をはじめ、旧村営軌道風連線奥行停留所、旧上春別駅、旧平糸駅、旧光進駅など、町内に点在する別海町歴史文化遺産の敷地管理に使用し、作業効率の大幅な向上を図る。</p> <p>②運用体制については、ロボット草刈り機は旧奥行臼駅逦所の開館時間中に稼働させ、駅逦所に常駐する会計年度任用職員が日常の管理監視を行う。乗用草刈り機は教育委員会による直接運用に加え、NPO 法人別海町文化財ネットワークへの貸与により、町内歴史文化遺産の敷地や旧標津線フットパスコースの草刈り作業を効率的に実施することを考えている。</p>
委員 11 番 今西	<p>・奥行の文化財は教育的な見地からさらに広げて、観光でのやりとりの中でも奥行地区の観光資源を磨き上げという答弁もあったため、環境整備、景観保全がしっかりと整えるための準備ができたと理解している。今配置されているスタッフで、これからの目的達成のために、しっかりと取り組んでいく体制が整ってきたと理解してよいか。</p>
郷土資料館長 堺	<p>・ロボットや搭乗式の草刈り機を入れても、道路の側溝部分や凹凸がきつい部分はどうしても人力での草刈りになるため、今まで雇用していた会計年度任用職員だけでなく、ボランティアの方の協力も得ているため、引き続きそういう形で環境整備を進めていけたらと思う。ロボットの導入によって効率は上がるが、人力に頼らなくてはいけない部分も出てくる。</p>
委員 10 番 外山	<p><b>項) 社会教育費 目) 青少年教育費</b>  <b>事業) 友好都市少年少女ふれあいの翼交流事業 3,469 千円</b></p> <p>①中学生 16 人の選出方法及び引率 4 名の内訳。</p>
生涯学習課長 立澤	<p>①各学校の選出方法については学校に選出を依頼している。方法的には作文や面接等を行い、学校としての代表生徒を決定している。引率については生涯学習課の職員 3 名と、団長として指導室から指導主幹 1 名を予定している。</p>
委員 10 番 外山	<p>・16 名ということは、学校サイド側から 16 名選んでもらうということによろしいか。</p>
生涯学習課長 立澤	<p>・そのとおりである。</p>
委員 9 番 小椋	<p><b>項) 保健体育費 目) 保健体育総務費 節) 負担金補助及び交付金</b>  <b>細節) スポーツ振興事業補助金</b>  <b>事業) スポーツ振興補助事業 5,180 千円</b></p>
生涯学習課長 立澤	<p>①様々なスポーツ少年団などの運営において、特に事務局機能の維持に苦勞している現状がある。この事務的な労力の DX 化などは交付対象となるか。</p>
委員 9 番 小椋	<p>①各単位スポーツ少年団への直接の補助は町からの補助ではないが、スポーツ少年団本部から単位スポーツ少年団へ毎年助成されているものの中から対応いただくことは可能と考えている。</p> <p>・個々の団体が DX 化をするのは現実的にはかなり難しいと思う。それを取りまとめる本部があるということで、そこで確実にどの団体でも使っている事務を把握できると思うので、そこで共通化した DX を行う、もしくは事務局機能の一部を集約化するみたいな取組を検討することが行政側としてできるのか。</p>
生涯学習課長 立澤	<p>・今のところ検討はしていないが、数年前であれば各単位団体が登録行為を行うときに手書きのものを町の本部に提出し、それを道本部に上げていくという状況だったが、現在はインターネット環境のつながる機器でスマホでも直接日本スポーツ少年団に登録ができる。またスポーツ安全保険も直接ネット環境から登録ができることを考えれば、少しずつ DX 化にはなっている。本部でそういった事務を一元化というのは人員の関係もあるので難しいが、年に 1 度北海道のほうで事務担当者会議があるため、そういったと</p>

<p>委員 10番 外山 生涯学習課長 立澤</p>	<p>ころにつなげていくことを考えていきたい。</p> <p>項) 保健体育費 目) 保健体育総務費 節) 負担金補助及び交付金  細節) スポーツ振興事業補助金  事業) スポーツ振興補助事業 5,180千円</p> <p>①学校部活動地域展開モデル団体、団体の名称及び交付金の使途は。  ①モデル団体及び名称については、別海町 KSC (サッカー少年団)、別海町卓球少年団、別海町バスケットボール少年団、根室管内男子バレーボール少年団が受皿となっている少年団が一つである。交付金の使途については、各団体 2 名分の指導者に関わる報酬、それと公認スポーツ施設指導者の登録料等になっている。</p>
<p>委員 10番 外山 生涯学習課長 立澤</p>	<p>・指導者不足で各種目とも苦慮しているところだが、この人たちの職種が分かれば伺いたい。</p> <p>・現在は教員の方、それと役場職員、あとは農協職員等になっている。</p>
<p>委員 9番 小椋 学校給食センター長 田畑</p>	<p>項) 保健体育費 目) 学校給食費 節) 需用費 細節) 賄材料費  事業) 学校給食費無償化事業 135,671千円</p> <p>①現場の懸命な工夫によって給食の質が維持されているが、今後のさらなる物価高騰に対して、固定された当初予算の枠内だけで対応し続けることには限界があると考え。事業目的に掲げられている「栄養バランスに優れた献立の提供」や「食育」を確実に維持するため、今後の情勢変化によっては現場の努力に頼り切るのではなく、必要に応じて補正予算を組み、材料費の不足分を速やかに補填するといった対応方針はお持ちか。</p> <p>①学校給食は単なる昼食の提供ではなく、成長期の子供に必要な栄養摂取や食に関する正しい知識と望ましい食習慣の形成、地域の文化や産業への理解促進等の重要な教育的役割を担っている。その質を維持することは学校給食提供者の責務と考えている。想定される物価高騰などは当初予算において考慮し積算しているが、今後災害や異常気象等による想定を超えた食材価格の高騰によって、当初予算内の範囲で栄養バランスの優れた献立の提供が困難となる場合には、必要に応じて補正予算を編成しなければならないと考えている。</p>
<p>委員 9番 小椋 学校給食センター長 田畑</p>	<p>・現場の感覚として、何かあったら気軽には言えないが、質を重視して、お願いするところは補正をお願いするという形で、教育委員会側の上から下まで共通の認識を持つ取組を進めていただけないか。</p> <p>・毎日給食センターに行って栄養士とも会話している。令和 7 年度においても国内で鳥インフルエンザが発生して鳥卵の供給量が極端に少なくなった上に、ブラジルでも鳥インフルエンザが起きて、国内の鳥がブラジル産からタイ産に変わるという状況もあり、そのときそのときに栄養士とニュースや国際情勢等を確認しながら、事務と予算の残額を確認しながら、補正予算にはタイミングもあるので、早い段階でコミュニケーションを取りながら、もし予算に不足が生じる場合があれば、タイミングよく補正予算を要求していきたい。</p>
<p>委員 13番 中村 学校給食センター長 田畑</p>	<p>項) 保健体育費 目) 学校給食費 節) 需用費 細節) 賄材料費  事業) 学校給食費無償化事業 135,671千円</p> <p>①令和 7 年度のアー日当りの食数、イ給食日数、ウ賄材料の町内産、道内産、道外産、外国産の割合、工調達業者の町内業者の割合。  ②令和 8 年度のア、イの計画値。  ③地産地消の考え方。  ④有機給食の考え方。</p> <p>①2月末現在の数値で答える。令和 7 年度の 1 日当たりの食数は 1,386 食、給食日数は 199 日、賄材料の割合は町内産が 15.47%、道内産が 51.57%、道外産が 22.31%、外国産が</p>

<p>委員 13番 中村</p>	<p>10.65%、調達業者の町内業者の割合は 30.01%。</p> <p>②令和 8 年度の計画は 1 日当たりの食数は 1,458 食、給食日数は 198 日である。</p> <p>③現在飲料牛乳をはじめ、調理用牛乳やバター、アイスクリームなどの乳製品、それとホタテやホッキなどの海産物は別海町産を使っている。また 1 回の給食で 2 個以上の別海町産食材を使用している別海給食は、令和 7 年度は 4 回実施している。今後についても地場産食材を活用した給食の提供を進めたい。</p> <p>④給食食材は学校給食の需要量を供給でき、かつ献立に応じた形態で納品できる業者から見積りを徴し、最も安価な業者から購入しているが、価格面や安定供給の面等から、現状において有機給食の実施は難しい。また令和 6 年度に地域おこし協力隊が手がけていた中春別地区の農園から 2 種類の野菜の無償提供を受け、給食に使用したが、令和 7 年度の提供はかなわなかった。給食の献立は 2 か月後までの計画を栄養士が立てていることから、必要な時期に一定の需要量を安定的に供給できるかなど課題があるが、今後も可能性は探していきたい。</p>
<p>総合政策部長 松本</p>	<p>・大変努力されているということは数字上でも見えてくる。別海給食などの工夫もされていて良い試みだが、1 点、有機給食のところでも中春別で行っていた農園からの提供が、令和 6 年度はあったが令和 7 年度はなかった。地域おこし協力隊も関係してのことだったので、なかったことに残念感を持っているが、その事情について伺う。</p>
<p>委員 8番 田村</p>	<p>・1 人協力隊で一生懸命やっていたいいる隊員がいるが、昨年度やや芋の管理などいろんなところに苦慮されているということである。来年度に向けては既に着任している 1 人の方と、採用した 1 人の方、野菜の知識のある方がさらに 2 人追加されているので、その彼女を中心に 4 人体制で地場産の野菜が給食で提供できるように投げかけていきたい。</p> <p><b>項) 保健体育費 目) 総合スポーツセンター費</b>  <b>事業) 町営野球場整備事業 471,300 千円</b></p> <p>①2,932 人が利用する施設で快適な施設環境を確保するため、電光スコアボードや用器具庫の整備が含まれているが、球場近くのトイレ整備は、本事業の全体計画の中に含まれているか。</p> <p>②野球場整備事業の全体計画と年次計画は立てているのか。第 7 次実施計画との整合性はあるか。</p> <p>③第 7 次実施計画では、高圧ケーブル更新とキュービクル内設備更新、照明 LED 化改修工事に 131,700 千円計画されている。第 7 次実施計画時点で計画になかった電光スコアボードと用器具庫の事業費を計上するに至った経緯を説明願う。</p>
<p>生涯学習課長 立澤</p>	<p>①本事業の第 7 次実施計画には計上されていないが、トイレの現状確認、使用もしているので、整備の重要性については十分に認識している。現在作成中の地域活性化拠点再生構想の中で、設置場所も含めて検討することとしている。</p> <p>②町営野球場の老朽化対策と機能向上を目的とした整備事業を複数年にわたる計画事業として位置づけている。毎年度社会情勢の変化や設備の状況を勘案しながら、計画の見直しや追加等を行いながら整備を進めている。</p> <p>③本町施設での試合に際して町内外から観戦者も増え、より一層のスポーツ環境の向上が必要であると認識した。このことから、電光化や用器具庫設置による広域的なスポーツ大会の誘致や生涯スポーツの振興などにおける利用者満足度を高めるとともに、視覚による正確な情報伝達や設備利用の促進につながり、交流人口の拡大や町のイメージアップを期待できると判断し、令和 8 年度の予算に計上した。</p>
<p>委員 8番 田村</p>	<p>・電光スコアボード単体にかかる事業費は幾らか。バックネット裏のトイレは野球場の附帯施設ではなく</p>

		<p>体育施設全体の附帯施設という観点で、野球場整備の計画に盛り込まれてないという考え方でよろしいか。</p>
生涯学習課長	立澤	<p>・電光スコアボードの工事費は4億3,400万円になっている。トイレの関係については、もともと施設のトイレということで設置されたのではなく、公衆トイレとして当時町民課で設置したものになる。現在の場所だとファールボール等で観客に当たる場合もあるので、トイレの設置についても今後計画していきたい。</p>
委員	1番 市川	<p><b>項) 保健体育費 目) 総合スポーツセンター費 事業) 町営野球場整備事業 471,300千円</b></p> <p>①中標津の野球場利用者は約7,000人とのことだが、この改修により、費用対効果はどのように見込んでいるのか。</p>
生涯学習課長	立澤	<p>①本事業を実施することで、広域的なスポーツ大会の誘致や生涯スポーツの振興などにおける利用者満足度を高めることが可能と考えている。高規格な設備を備えることで、全道・全国規模の野球大会や野球場を利用したスポーツイベント等を計画誘致することで、交流人口の拡大などにより町内での宿泊や飲食といった地域経済への波及効果につながるものと考えている。</p>
委員	1番 市川	<p>・4億3,400万の電光スコアボードができることによって、金額が余りにも大きすぎてびっくりしている。町民の人に何と説明するのが納得いただく説明か。どうしてこんなに高いのかがもう少し分かれば教えてほしい。</p>
生涯学習課長	立澤	<p>・今の概算予算だが、既存のバックスクリーンは残しつつ、別建てでライト側に電光掲示板を新たに設置するような内容となっているので、最大このぐらい概算要求しているが、今後各種メーカー等が何社かあるので、そういったものも仕様を確認しながら、例えば既存のバックスクリーンに設置するタイプなども考えられるので、今はマックスの概算要求とさせていただいているが、今後検討の余地はある。それと7年度の野球場の実績だが、6,900名ほど御利用いただいている。その方たちが例えばコンビニに寄って買物をする、また町外の方はガソリンを入れて帰るなどを考えると、今後そういったスコアボードを設置することによってさらに来場者が増えて効果も上がるのではないかと考えている。</p>
委員	9番 小椋	<p>・電光掲示板を設置することで、野球以外にもあそここの空間をこんな形で利用できるみたいなのを今想定している部分があれば教えてほしい。特に電光掲示板がどういふものなのか。おっきな液晶ディスプレイみたいな感じで自由に使えるかどうか、そのイメージが伝わってきていない。</p>
生涯学習課長	立澤	<p>・今のところ予定している仕様だが、当然得点、選手の名前は仕様の中に入っているが、そのほかにも画像を流すなどでもできるような仕様を今のところ選んでいるので、例えば野球場でライブをやるとか、スポーツで言えば少年サッカーぐらいであれば芝生を利用してそういった試合もできるのではないかと今今のところ考えている。</p>
委員	9番 小椋	<p>・非常に多目的に利用できて、スポーツ設備ではあるが、例えば音楽イベントや文化イベントも当然考慮された上で、今後施設運営、ルール等の整備も併せて行っていくという認識でよろしいか。</p>
生涯学習課長	立澤	<p>・財源となるものもそういった意味を含めての申請となっているので、当然そういったことを考えながら計画していきたい。</p>
委員	16番 西原	<p>・電光掲示板の工事自体が完成はどのぐらいを予定しているか。いつから供用開始できるのか。それから水銀をLED化してナイター設備も工事に入っているが、ナイター設備もその工事が完了して実際使用できるのはいつからか確認したい。</p>
生涯学習課長	立澤	<p>・スコアボードは令和8年度の野球のシーズンが終わってからの施工になるので、基本的には冬施工になるのではないかと考えている。ただ、工事自体が令和8年度で完了するかどうかは今今のところ未定なので、令和9年度のシーズンに間に合うかどうかは未定となっている。LEDの照明については、これも恐らく令和9年度のシーズンオフから工事が施工されると思うので、それについては恐らく令和10年からの使</p>

委員 16 番	西原	用ができるのではないかと今のところ計画している。
生涯学習課長	立澤	・電光掲示板は令和 8 年度のシーズンオフで、ナイター設備は令和 9 年度のシーズンオフにやるという、そういう年次計画があるということで理解してよろしいか。
委員 4 番	伊勢	・そのように計画している。
総合政策部長	松本	・あそこにあるトイレをいつ改修して、新しい洋式化にするビジョンがあるのか、その辺の計画は、電光掲示板とこういうものには令和 8 年令和 9 年とかの計画を言っていたが、トイレに対しては全然考えてないという考えの感じだったが、それに対してのこれからの見込みを教えてください。
		・全庁的に拠点再生構想の議論をする中で、球団が立ち上がってホームの試合の日はそこに公衆トイレが近くにあるのは確かに便利だが、あのエリア全体で見たら通常はその球場の道路の向こう側のほうが多くの町民の方が利用されている。また今陸上競技場の前にある建物などもトイレ以外のことも含めて、特に女性は利用しにくいような状況もある。いろんなトイレ以外の機能も含めて、どこの位置に整備するのかを拠点再生構想の中で計画をしていきたいということを考えている。また企業版ふるさと納税で 2,000 万円、球場の整備に活用してほしいということで企業からも申込みを頂いているので、いずれの機会に財源内訳の変更なども説明させていただかなければならない。電光掲示板についてはこれから精査をしていく。それから交付金を使う以上は国のほうから KPI をかなり厳しく求められる。球場の使用をどうするのか、あるいは企業のスポンサーなどを電光掲示板に表示していくのかなど、そういったことも総合政策課の担当で今詰めているので、トータルの中できちっと費用対効果を出せるように全庁的にしっかり対応していきたい。
委員 4 番	伊勢	・前向きな返答をいただいたため、今後とも前向きにトイレの設置のほうを検討していただきたい。
委員長 7 番	横田	教育費、災害復旧費、公債費、給与費、予備費全体質疑
委員	一同	・なし
委員長 7 番	横田	歳出終了。
委員長 7 番	横田	休憩 11 : 57
委員長 7 番	横田	12 : 57 再開
		一般会計全般について
委員 8 番	田村	①予算編成方針によると、経常収支の改善を軸に「ゼロ・シーリング」を基本としている。別海町財政運営計画では、経常収支比率は当初予算の段階から一定程度の予測が可能となっているが、予測値と経常収支比率の低下を特に意識して、予算編成した点を分かる範囲で説明願う。 ②予算では、起債額 13 億 7,090 万円については、別海町財政運営計画に沿った限度額編成になっている。起債の種類ごとに元利償還に対する交付税措置があり、有利な起債を選択している努力が見られる。例えば、ソフト事業やハード事業に充当されている過疎債では元利償還分の 70%が交付税措置されるが、措置される額は財政力指数に影響されるか。財政力指数が 0.5 の場合、交付税措置は元利償還分の 70%の半分になるのか。 ③予算の事業費調では、約 168 億の事業費に対して国・道の補助金が 28 億、起債 14 億、その他 64 億、ふるさと応援基金繰入金が 49 億、一般財源が 13 億となっている。この予算編成を見ると、ふるさと応援基金に財源を依存せざるを得ない財政構造になっており、将来的には努力して補助金の採択を受けても、ふるさと応援基金が枯渇した場合には、補助残を一般財源だけでは充当できなくなり、事業費の大幅縮小を余儀なくされるのか。また、経常的事業にもふるさと応援基金を、令和 7 年度で約 7 億円充当しているが、事業費の大幅縮小だけでなく、経常的事業にも大きな影響があることになるのか。
財政課長	寺尾	①経常収支比率の予測値について、財政運営計画では町独自の性質分類による整理を行うが、

		<p>決算データの蓄積が前提であり、令和 8 年度から新たな分類を導入したばかりのため、現段階では当初予算段階での説明能力はない。経常収支比率低下を意識した点としては、地方交付税措置の低い借入れを抑えたことが大きい。</p> <p>②過疎対策事業債は元利償還金の 70%が基準財政需要額に算入されるが、財政力指数の影響を受け、仮に財政力指数 0.5 の場合、理論上 70%から 35%程度しか実際の交付税には反映されない。</p> <p>③基金残高が大きく減少する場合は投資的事業の規模見直しや経常的事業の縮小が必要となる可能性がある。財政運営計画に基づいて基礎的行政運営収支の改善に取り組みながら、持続可能な財政運営に努める。</p>
委員	8 番 田村	<p>・令和 8 年度予算では辺地債 5 億 6,840 万円、過疎債 6 億 1,110 万円で全起債の 91.8%が有利な起債となっているが、過疎計画期間内の今後も継続可能か。また、財政力指数 0.3 の場合、過疎債では 49%、辺地債では 56%の交付税戻りという理論で良いか。</p>
財政課長	寺尾	<p>・貸す側の予算もあるため申請してもカットされる現実はあるが、過去の経緯を見るとおおむね現在の起債は継続可能と見込む。交付税交付率について、辺地債 56%、過疎債 49%が現在の財政力指数ベースでの実際の交付税額の理論値である。</p>
委員	13 番 中村	<p>財政の健全化について</p> <p>①令和 7 年度別海町の A 財政力指数、イ 経常収支比率、ウ 実質公債費比率の見込値。</p> <p>②令和 8 年度の A～ウの推定値。</p> <p>③令和 8 年度予算編成に当たって A～ウの健全化にむけどのような努力をしたか。</p>
財政課長	寺尾	<p>①財政力指数は確定値で 0.302、実質公債費比率はおおむね 11.1 程度で令和 6 年度と同程度の見込み。経常収支比率は決算をもとに算定される指標のため現時点での見込値提示は困難。</p> <p>②財政力指数は 0.299 の予測、実質公債費比率は 11.1 程度の予測。</p> <p>③財政調整基金繰入額を 5 億円に抑制、地方債借入額を財政運営計画の範囲内で抑制、経常経費を前年並みに意識した編成、将来の地域づくりにつながる取組への投資である。</p>
委員	13 番 中村	<p>・財政力指数が大きく変動していないが、別海町の財政の基礎力、基礎体力を保つための基本的考え方について伺う。</p>
財政課長	寺尾	<p>・財政力指数向上には税収アップが重要で、そのためには地域活性化施策が必要である。現在ふるさと応援基金という財源を活用できる今だからこそ、海も山も商店街も元気になるよう職員一同頑張っているところである。</p>
委員	13 番 中村	<p>地域おこし協力隊関連事業について</p> <p>①令和 6 年度会計決算の総括質疑で議会として地域おこし協力隊関連事業に対し、事業のさらなる見える化に取り組むことを創意工夫に関する事項として提示した。この提示に対し、どのような努力をしてきたか。また、令和 8 年度においてどのような努力をしようとしているか。</p>
地域創生課長	松本	<p>①予算資料では活動分野でしか一覧で見える化できていなかったが、今回事業ごとに隊員の業務担当や地域力の維持強化について詳しく整理した。マネジメント人材も起用し事業計画立案から予算編成まで担当している。内部では理事者に顔写真入りで全て明らかにしているが、住民にはまだ見えていないため、今後さらなる創意工夫を重ねる。</p>
副町長	浦山	<p>・組織的な観点から、新年度の組織図において地域プロジェクトマネージャーを総合政策部の各部門の筆頭に配置し、どの部分をどの地域おこし協力隊が統率するかを分かりやすく反映する予定である。地域おこし協力隊と地域プロジェクトマネージャーが誇りと責任を持ち、職員が敬意と尊厳を持って業務に</p>

		<p>当たる一体感を町民にも見てもらえるよう取り組む。</p> <p>・委託型についてはどのような形で町民に示されるか。また、町民と触れ合う部分での工夫や努力について何う。</p>
委員 13 番	中村	
副 町 長	浦 山	<p>・1 万 4,000 人の住民に 100 人の地域おこし協力隊が近い存在として認識してもらうには時間と具体的接点が重要である。活動拠点が中央に偏りがちで各地での実感は困難な部分もある。委託型については組織図では確認できないため、活動内容をこれまで以上に発信し、事業そのものを強く発信していく中で周知と理解を求めていく。</p>
委員 13 番	中村	<p>・地域おこし協力隊白書のような報告書的なものを考えているか。また、どこまで人数を増やすのか。</p>
地域創生課長	松本	<p>・地域おこし協力隊白書というアイデアは担当と話し合いたい。人数について、地域おこし協力隊を探しているのではなくまちづくりの仲間を探しており、現状はまだ地域の人材が不足している認識である。過度に増やす予定はないが、ベストマッチな人数は各年度の予算案提出で説明する。</p>
委員 11 番	今西	<p>・今年度予算の自主財源が 50%を超えることについて感慨深く、過去の将来への投資が現在の安定した基幹産業とふるさと納税を支え、次世代への投資を続ける考えについて何う。</p>
副 町 長	浦 山	<p>・自治体経営は全国的に困難を極めており、緊張感を持って取り組んでいる。大きな予算規模への不安もあるが、お金を蓄えるのではなく有効に還元することでまちづくりが出来上がる。50 年後の未来に向けて将来への投資を行いながら、希望とわくわく感を持てる日々を過ごせるまちづくりが責務である。総合政策部と経営管理部の新設により、安定的財源確保と経営管理の両面を強化し、令和 8 年度予算はその形の現れである。</p>
委員長 7 番	横田	令和 8 年度一般会計予算審査終了
委員長 7 番	横田	休憩 13 : 43
委員長 7 番	横田	13 : 44 再開
委員長 7 番	横田	令和 8 年度別海町国民健康保険特別会計予算審査
		歳入
委員	一同	歳入質疑なし
委員長 7 番	横田	歳入終了
委員長 7 番	横田	歳出
委員	一同	歳出質疑なし
委員長 7 番	横田	歳出終了 総括質疑
委員	一同	総括質疑なし
委員長 7 番	横田	令和 8 年度別海町国民健康保険特別会計予算審査終了
委員長 7 番	横田	令和 8 年度別海町介護サービス事業特別会計予算審査
		歳入
委員	一同	歳入質疑なし
委員長 7 番	横田	歳入終了
委員長 7 番	横田	歳出
委員	一同	歳出質疑なし
委員長 7 番	横田	歳出終了 総括質疑
委員	一同	総括質疑なし
委員長 7 番	横田	令和 8 年度別海町介護サービス事業特別会計予算審査終了
委員長 7 番	横田	令和 8 年度別海町介護保険特別会計予算審査
		歳入

委員	一同	歳入質疑なし
委員長	7番 横田	歳入終了
委員長	7番 横田	歳出
委員	一同	歳出質疑なし
委員長	7番 横田	歳出終了 総括質疑
委員	一同	総括質疑なし
委員長	7番 横田	令和8年度別海町介護保険特別会計予算審査終了
委員長	7番 横田	令和8年度別海町後期高齢者医療特別会計予算審査
		歳入
委員	一同	歳入質疑なし
委員長	7番 横田	歳入終了
委員長	7番 横田	歳出
委員	一同	歳出質疑なし
委員長	7番 横田	歳出終了 総括質疑
委員	一同	総括質疑なし
委員長	7番 横田	令和8年度別海町後期高齢者医療特別会計予算審査終了
委員長	7番 横田	休憩 13:55
委員長	7番 横田	14:01 再開
委員長	7番 横田	令和8年度町立別海病院事業会計予算審査
		収益的収入
委員	8番 田村	<b>項) 医業外収益 目) 負担金交付金 936,646千円</b> ①地域医療体制維持確保事業及び地域医療体制維持確保特別対策事業の一般会計繰出金について、病院事業会計では、3条予算の勘定科目「医業外収益」の「負担金交付金」で整理されるのか。
病院事務課長	横木	①両事業とも病院の安定的運営維持支援のための経費で赤字補填や行政的サービスに対する繰出しの性質のため、第3条予算収益的収入の医業外収益の負担金交付金で整理している。
委員	8番 田村	・一般会計負担金9億3,664万6,000円のうち、基準内での繰出金額は。
病院事務課長	横木	・基準内が5億17万4,000円、基準外が4億3,647万2,000円である。
委員長	7番 横田	収益的収入終了
委員長	7番 横田	収益的支出
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	収益的支出終了
委員長	7番 横田	資本的収入
委員	8番 田村	<b>項) 出資金 目) 他会計出資金 440,229千円</b> ①町立別海病院施設整備費等繰出事業の一般会計繰出金について、病院事業会計では、4条予算の勘定科目「出資金」の「他会計出資金」で整理されるのか。
病院事務課長	横木	①施設の建設改良という資産形成を目的とした財源のため、第4条予算資本的収入の出資金の他会計出資金で整理している。4条予算の一般会計出資金4億4,022万9,000円のうち、基準内が2億5,483万2,000円、基準外が1億8,539万7,000円である。
委員長	7番 横田	資本的収入終了
委員長	7番 横田	資本的支出

委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	資本的支出終了
委員	2番 吉田	令和7年度町立別海病院事業予定賃借対照表
		2 流動資産 (2) 未収金 128,870 千円
病院事務課長	横木	・貸借対照表の未収金 1 億 2,887 万円のうち、過年度分未収金の集金対応について伺う。 ・約 1 億円は診療報酬の 2 月分、3 月分で 4 月以降入金予定。個人滞納分は総額約 800 万円 で、令和 7 年度分 400 万円、過年度分 400 万円。長期通院者の滞納が多く、窓口来院時に過 年度分から処理し、通知督促を送って集金している。
委員	2番 吉田	・発熱外来でマイナンバーカードしか持たない場合の対応について伺う。
病院事務課長	横木	・救急玄関でもマイナンバーカード認証可能。発熱外来は一般駐車場で職員が車へ行く対応。時間 外は救急玄関での対応でカード認証機を使用し、預り金対応も可能である。
病院事務長	三戸	・発熱外来でコロナやインフルエンザ陽性でそのまま帰る患者も多いが、後日患者や家族が自主的に会 計に来てくれる方が非常に多い。未払いの場合は電話連絡し、保険証またはマイナンバーカードを持参 して来院いただき会計している。
委員長	7番 横田	総括質疑
委員	一同	総括質疑なし
委員長	7番 横田	令和8年度町立別海病院事業会計予算審査終了
委員長	7番 横田	令和8年度別海町水道事業会計予算審査
		収益的収入
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	収益的収入終了
委員長	7番 横田	収益的支出
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	収益的支出終了
委員長	7番 横田	資本的収入
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	資本的収入終了
委員長	7番 横田	資本的支出
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	資本的支出終了 総括質疑
委員	一同	総括質疑なし
委員長	7番 横田	令和8年度別海町水道事業会計予算審査終了
委員長	7番 横田	令和8年度別海町下水道事業会計予算審査
		収益的収入
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	収益的収入終了
委員長	7番 横田	収益的支出
委員	一同	質疑なし
委員長	7番 横田	収益的支出終了
委員長	7番 横田	資本的収入
委員	一同	質疑なし

委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員 一同  
 委員長 7番 横田  
 委員 一同  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田

資本的収入終了  
 資本的支出  
 質疑なし  
 資本的支出終了 総括質疑  
 総括質疑なし  
 令和8年度別海町下水道事業会計予算審査終了  
 各会計予算討論・採決  
 令和8年度別海町一般会計予算（町長提出議案第4号）  
 討論なし  
 採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田

議案第4号 原案可決  
 令和8年度別海町国民健康保険特別会計予算（町長提出議案第5号）  
 討論なし  
 採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田

議案第5号 原案可決  
 令和8年度別海町介護サービス事業特別会計予算（町長提出議案第6号）  
 討論なし  
 採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田  
 委員長 7番 横田

議案第6号 原案可決  
 令和8年度別海町介護保険特別会計予算（町長提出議案第7号）  
 討論なし  
 採決

異議なし



議案第 11 号 原案可決

委員長 7 番 横田

閉会挨拶

委員長 7 番 横田

閉会 14:25